

第4号様式（第10条関係）

会 議 録 （要 旨）

会 議 名	平成30年度第2回武蔵村山市在宅医療・介護連携推進協議会
開 催 日 時	平成30年10月31日（水） 19時30分 ～21時10分
開 催 場 所	市民総合センター3階 小会議室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：下田委員、奥住委員、宇津木委員、堀尾委員、斎藤委員、高佐委員、中島委員、井梅委員、五十嵐委員、菅原委員、鹿取委員、佐藤委員、内田委員、高齢・障害担当部長、高齢福祉課長、管理係長、管理係主任、高齢福祉係主任 欠席者：小山委員、河西委員、中野委員 傍聴者：0名
議 題	報告事項1 平成30年度第1回会議録について 報告事項2 本市の現状等について 報告事項3 在宅医療・介護連携支援センターの活動状況について 報告事項4 その他 議 題1 在宅医療・介護連携推進協議会会長及び副会長の選任について 議 題2 平成30年度第2回多職種研修会について 議 題3 その他
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	議題1：会長には下田委員、副会長には五十嵐委員が選任された。 議題2：平成31年2月23日（土）に「神経難病」を大きなテーマとして開催することとなった。細かい内容については部会で作業することとなった。 議題3：在宅医療・介護資源WEBマップについて、事務局から説明のあった作成方法、スケジュールで作業を進めることとなった。
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。)	開会 委嘱書の交付 委員自己紹介 事務局紹介  《報告事項1 平成30年度第1回会議録について》 事務局：説明 委 員：質疑なし  《報告事項2 本市の現状等について》 事務局：説明 委 員：質疑なし  《報告事項3 在宅医療・介護連携支援センターの活動状況について》 事務局：委員である在宅医療・介護連携支援センター長から説明していただく。 委 員：説明

委員：質疑なし

《報告事項4 その他》

事務局：特になし

委員：特になし

《議題1 在宅医療・介護連携推進協議会会長及び副会長の選任について》

事務局：前委員の任期満了に伴い、10月1日から新委員となったので、会長及び副会長を改めて選任する必要がある。委員の互選によって決定することになっているので協議願う。

委員：前期で会長と副会長を務めていた下田委員と五十嵐委員にお願いしたい。

委員：異議なし。

事務局：会長は下田委員、副会長は五十嵐委員にお願いする。

また、議題では挙げていないが本協議会の会議及び会議録の公開について審議いただきたい。

会長：事務局より申し出があった件について審議を行うので、説明願う。

事務局：武蔵村山市附属機関等の会議及び会議録の公開に関する指針に基づき、これまでと同様に取り扱いたいと考えている。

委員：異議なし。

会長：指針に基づいて会議及び会議録の公開を行うこととする。

《議題2 平成30年度第2回多職種研修会について》

事務局：先日開催された第1回のまとめ及び参加者アンケート結果については資料のとおりである。第2回は平成31年2月23日（土）の午後を予定している。日時とテーマ等について協議していただきたい。10月25日に開催された推進部会では、神経難病をテーマにするのはどうかという案があった。

委員：推進部会での内容を補足すると、神経難病は在宅での療養期間も長い傾向にあり、介護との関係も出てくるという話があった。研修会前半は、神経内科の医師からの講義。また、保健所との関わりも必要なケース等もあるので、保健所職員より連携の仕方等、講義していただくのも良いのではないかと。さらにケアの部分については、都立神経病院の認定看護師が出前講座を行っているとの情報もあるので、利用できないかと考えている。後半はグループワークだが、ワールドカフェ形式で職種ごとにワークを行うのも良いのではという案もあった。

委員：講義とグループワークの時間配分をどうするか。ワールドカフェ方式を取り入れると1時間では足りないと思われる。

委員：グループワークの内容については、講師を依頼予定の都立神経病院の認定看護師に聞いてみるのもありかと思っている。生活の部分を中心に考えるのは良いかもしれない。

委員：どのような症例にするかによってグループワークの方法も変わってくる。

委員：例えば一つの症例で3年間取り上げるのも良いかと思うが、そうするとワークの時間が足りないと思う。

委員：多職種研修会の前に協議会は開催されるのか。

事務局：必要であれば開催する。

会長：協議会を開くとしても1月になってしまう。推進部会に任せても良いか。

委員：異議なし

会長：日時については事務局案のとおりとし、テーマは「神経難病」とする。詳細については推進部会に一任とする。

### 《議題3 その他》

事務局：現在、在宅医療・介護資源WEBマップについて年度内リリースを目標に作業を進めている所である。医療機関、歯科医院、薬局、その他介護事業所等を掲載する予定であるが、アンケート調査を行う必要がある。調査方法については、先行市である立川市や昭島市ではアンケート用紙に記入いただいたものを手入力でデータ化していたが、武蔵村山市では市ホームページ上のアンケートフォームに入力してもらう方法を検討中である。ネット環境がない場合等は個別に対応する予定。また、項目については、基本的に立川市のものをそのまま利用する予定である。

今後の作業スケジュールについて、11～12月アンケート調査、1～2月サイト構築作業、3月テスト・リリースを予定している。マップ作成の詳細については必要に応じ推進部会に諮って進めていきたいと考えている。

委員：マップの見直しの頻度はどのくらいを考えているのか。

事務局：具体的には決まっていないが、一定の頻度で行う必要がある。年に数回又は随時更新する等は未定である。

委員：現在、立川市や昭島市が運用している方法だと、他市の状況は見るができない。境をなくして見えるようにしないとマップを作成する意味がない。

委員：立川市ではアンケート内容は各師会で手分けして作成した。同じように行うのか。

事務局：同じシステムを使用するので、独自のカスタマイズは難しい。基本的には同じ内容である。市を超えてマップを見られるようにシステム変更するには先行市の同意が必要。立川市と昭島市には運営元から問い合わせをしてもらっている。

委員：各師会に加入されていないところも市内にはあるが、マップに掲載するのか。

事務局：その予定である。

委員：加入していないところのカバーは市が行うのか。

事務局：市が対応する。

委員：住民向けなら内容が分かりにくいと感じる。各項目や使用方法についての説明が必要。また、ホームページ上のアンケートでは、情報公開についての同意の方法はどのように行うのか。回収率の目標は決めているのか。

事務局：アンケートについては、なるべく効率的に進めたいと考えている。紙ベースで行うと手入力での集計が必要になる。ホームページ上で各自入力してもらったほうが、集計が早くできる。また、紙ベースを希望するところがあれば適宜対応する。同意は、チェックボックス等に入力等を考えている。できる限りすべての医療機関、事業所等を網羅したいと考えている。

委員：アンケートの配布、回答等は各師会でできないのか。

委員：ある程度は可能と思う。ただ、加入していないところのフォローは必要。

委員：すべて行政だけで行うのは大変。各業種団体と行政でそれぞれ動いていけば短期間で作業できるのでは。

会長：事務局から説明のあったとおり進めていくことで良いか。

	委員：異議なし 会長：その他委員、事務局から何かあるか。無いようなら本日は閉会とする。今後3年間スムーズに運営できるよう御協力をお願いする。  終了
--	---

会議の公開・ 非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 ※一部公開又は非公開とした理由 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; height: 40px; margin-top: 5px;"></div>	傍聴者： _____ 0人
-----------------	---	---------------

会議録の開示・ 非開示の別	<input checked="" type="checkbox"/> 開示 <input type="checkbox"/> 一部開示（根拠法令等： _____） <input type="checkbox"/> 非開示（根拠法令等： _____）
------------------	---

庶務担当課	健康福祉部高齢福祉課（内線：632）
-------	--------------------

（日本工業規格A列4番）